

温室効果ガス排出量削減目標が「SBT1.5℃」認定を取得

不二製油株式会社（本社：大阪府泉佐野市、代表取締役社長 最高経営責任者：大森達司）は、サステナブルな食の未来の実現を目指し「不二製油グループ環境ビジョン」で設定した温室効果ガス排出量削減目標において、2025 年 12 月に SBT イニシアチブ※1 から科学的根拠に基づいた目標であるとして SBT 認定を取得しました。今回認定を取得した、不二製油グループの温室効果ガス排出量削減目標は、以下のとおりです。

Near-term（短期）目標

- Scope1 + Scope2 ※2 : 2030 年度までに温室効果ガス総排出量を 42.0%削減（2020 年度比）
- Scope3（カテゴリ 1） ※3 : 2030 年度までに「購入した製品・サービス」由来の温室効果ガス総排出量を 25.0%削減（2020 年度比）
- FLAG ※4 : 2030 年度までに FLAG 温室効果ガス総排出量を 30.3%削減（2020 年度比）



今回認定を受けた温室効果ガス排出量削減目標では、削減対象を従来の CO₂から、GHG（温室効果ガス）全体へと拡大、Scope1 + Scope2 の短期目標において WB2℃水準※5 から 1.5℃水準※6 へと目標を引き上げました。さらに、新たに FLAG 排出量の短期目標を設定しています。今後もより一層の省エネ、再生可能エネルギーの導入、新技術による製品開発など、幅広く高レベルな取組みを打ち出し、持続可能な社会に向けて貢献してまいります。

- ※1 SBT イニシアチブ（Science Based Targets initiative）：
CDP、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）の国際的な共同イニシアチブ
- ※2 スコープ 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
スコープ 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- ※3 スコープ 3（カテゴリ 1）：
事業活動に関連するサプライチェーンにおける間接排出の内、購入した製品やサービスに伴う排出
- ※4 FLAG：Forest, Land and Agriculture の略で、森林・土地・農業セクターに関する排出量が対象。FLAG 排出量は土地利用の変化、土地管理による温室効果ガスの排出や炭素除去から算出
- ※5 WB2℃水準：
世界全体の平均気温上昇を産業革命前に比べて 2℃を十分に下回る水準に抑えるため SBTi が定める科学的根拠に基づいた目標基準
- ※6 1.5℃水準：
世界全体の平均気温上昇を産業革命前に比べて 1.5℃に抑えるため SBTi が定める科学的根拠に基づいた目標基準

参考 1：[Target dashboard - Science Based Targets Initiative](#)

参考 2：[2050 年を見据え「不二製油グループ環境ビジョン 2030」改定 | ニュースリリース | 不二製油株式会社](#)

以上

■ 本件に関するお問合せ先 ■

不二製油株式会社 コーポレートコミュニケーション部 kouhou@so.fujioil.co.jp